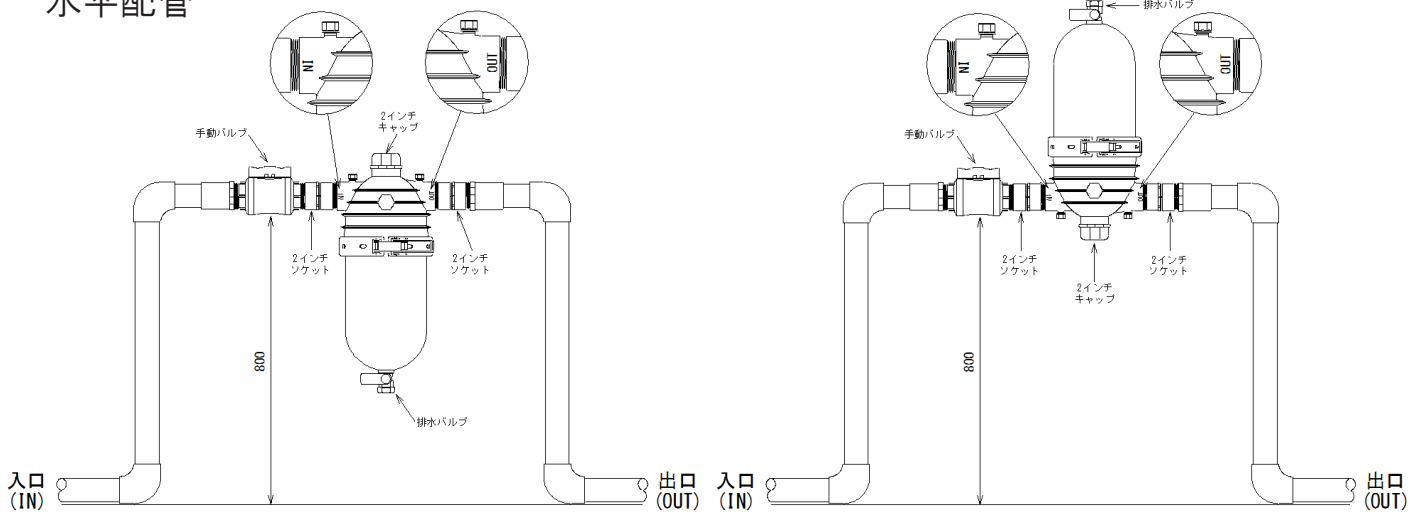
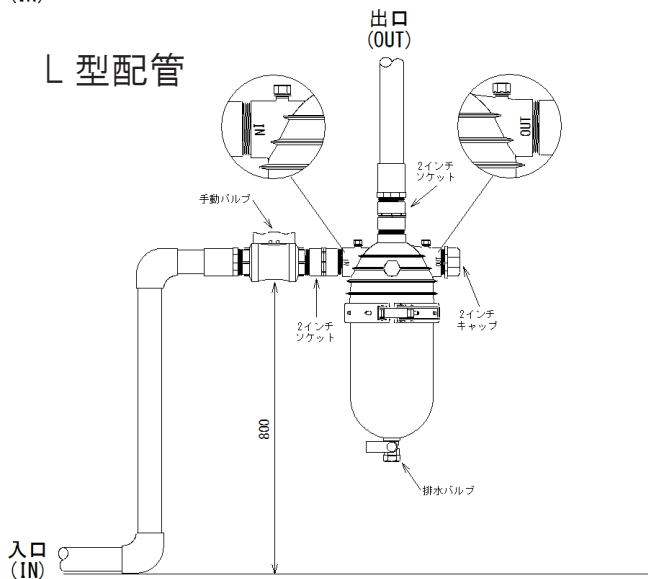


水平配管



L型配管



《注意》

使用圧力は、最大 1.0Mpa (10kg/cm<sup>2</sup>) です。それ以上の圧力で使用されることは危険ですでお止め下さい。

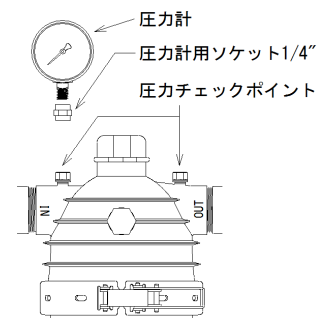
通水中に本体バンドをゆるめるとカバーが飛び出し危険ですので、本体バンドを操作する場合は必ず水を止め、本体の排水をしてから行って下さい。

《配管時の注意》

1. ディスクフィルターの本体にある IN・OUT の表示に従って下さい。
2. 本体の取付には、ネジ山を壊さないように付属の樹脂ソケットを利用して下さい。
3. ディスクフィルターは、カバーを外して掃除をしますので取付の際は、カバーを外せるよう余裕を持って設置して下さい。
4. 凍結の恐れがある場合は、ドレンバルブ（排水バルブ）を開けディスクフィルター内の水を抜いて下さい。

フィルターの圧力測定とディスクエレメントのクリーニングの目安

1. ディスクフィルターには、圧力を測定する圧力チェックポイント（右図）がありますので、圧力計（別売り）を使用して簡単に圧力の測定が出来ます。
2. ディスクフィルターの出口（二次側）の圧力チェックポイントに、圧力計をセットし圧力を測定して下さい。
3. ディスクエレメントの目詰りを知るには、先ずディスクフィルター配管直後（ディスクエレメントがきれいな時）の通水時に出口（二次側）圧力を測定しておきます。後に目詰りしてくると、圧力の低下が起きてきます。圧力低下が 0.05MPa (0.5kg/cm<sup>2</sup>) になったらディスクエレメントの掃除の時期です。カバーを外しディスクエレメントの掃除をして下さい。



1. 必ず入口側のバルブを閉めてから排水バルブを開け、フィルター内の圧力が完全に抜けたのを確認してから、作業を始めて下さい。
2. フィルターの中央にあるクランプの止め金を外して下さい。
3. フィルターカバーとクランプを取り外します。この時、カバーに付いているハイドリックシールをなくさぬようにして下さい。ディスクエレメントセットを、フィルターボディーから引きぬいて、取り外して下さい。
4. 軸用ナットをゆるめて、中の延長軸を伸ばします。
5. ディスクの集合体がバラバラになったら、清水の中で漬け洗ひするか、清水をかけてゴミを洗い流して下さい。
6. ゴミがしつこい場合は、タワシや歯ブラシ等で取り除いて下さい。
7. ディスクがきれいになったら延長軸を戻し、次に軸用ナットを手で回しながら締めて下さい。
8. 外した時と逆の手順で、フィルターボディーにディスクエレメントセットを差込んで、受け側の溝にしっかり納まるように少しずつ回転させセットして下さい。フィルターカバーをはめ、最後にクランプをはめて止め金を締めて下さい。

※ 掃除後、カバーを取り付ける際、うまく装着できない場合、ハイドリックシールにシリコングリスを塗布して下さい。装着しやすくなります。



## ディスクエレメントの溝に付着した藻類等の有機物や鉄分（さび）の除去方法

清水での漬け洗いで落ちづらい残留物については、塩酸による薬品処理である程度除去することが可能です。

薬局にて市販の希塩酸を5%濃度に薄めた溶液に、ディスクエレメントを半日程度浸した後、清水でよく洗い流して下さい。

### 《危険》

取扱に十分な注意が必要です。薬品取扱い者の指示にしたがって使用して下さい。

